

バイオ後続品の使用について

バイオ後続品（バイオシミラー）への取り組みについて

当院では、入院・外来ともにバイオ後続品の使用に積極的に取り組んでいます。

バイオ後続品（バイオシミラー）とは

先行バイオ医薬品の特許が切れた後に、別の製薬会社から発売される医薬品です。先行品と同等の品質・安全性・有効性を持つことが確認されています。

バイオ後続品の特徴

遺伝子組換え技術などを利用し、細胞や微生物から産生されるタンパク質を有効成分としています。ホルモン製剤や抗体製剤など、複雑な構造を持つものが多くあります。

安心してお使いいただくために

バイオ後続品は、先行バイオ医薬品と「品質・安全性・有効性」が同等であることを臨床試験等で実証し、国の承認を得て製造・販売されています。

患者さんの負担軽減に向けて

バイオ後続品は、先行品に比べて開発費用が抑えられるため、薬価が安くなる傾向があります。これにより、患者さんの経済的負担を軽減し、社会全体の医療費削減にも貢献します。

。

項 目	化学合成医薬品 (ジェネリック医薬品)	バイオ後続品 (バイオシミラー)
成分の由来	化学合成で製造	生きた細胞を利用して製造
分子の複雑さ	小さく単純	大きく複雑
製造工程	比較的安定	厳密な管理が必要